

2017年3月22日 全7頁

Indicators Update

2017年2月貿易統計

輸出数量が拡大基調をたどっていることを確認

エコノミック・インテリジェンス・チーム
エコノミスト 岡本 佳佑
エコノミスト 小林 俊介

[要約]

- 2017年2月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+11.3%と、3ヶ月連続で前年を上回り、事前コンセンサス（同+10.1%）も上回った。前年比で見た輸出価格がプラス幅を拡大したことに加え、中華圏の旧正月である春節の影響などから1月に減少していた輸出数量が2ヶ月ぶりにプラスに転じたことが、輸出金額の大幅増に寄与した。
- 季節調整値で見た輸出金額は前月比+6.1%と7ヶ月連続の増加、輸出数量は同+4.7%（季節調整値は大和総研による）と3ヶ月ぶりの増加となった。輸出数量を地域別に見ると、米国向けが同+2.9%、EU向けが同+9.5%と、いずれも3ヶ月ぶりの増加、アジア向けは同+9.1%と、2ヶ月ぶりの増加となった。品目別では、非鉄金属やバス・トラックの輸出数量の拡大が継続した一方、ICや二輪自動車が減少した。アジア向けでは、紙類及び同製品やIC、自動車の部分品など、多くの品目が前月から増加した。春節に伴う休暇が終わり、中国向けの輸出が通常に戻り始めたことが一因と考えられる。
- 先行きの輸出については、海外経済が底堅い成長を続けるなか、引き続き緩やかな増加基調をたどるとみている。ただし、トランプ政権の成立を受け、米国の通商政策が保護貿易主義に転じる可能性がある点がリスク要因として挙げられよう。仮に日米貿易摩擦問題が表面化するようなこととなれば、日本の輸出産業は打撃を受ける可能性がある。このため、4月にも開催が予定される日米経済対話での協議内容に注目したい。

図表1：貿易統計の概況（原系列、前年比、%）

	2016年							2017年	
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
輸出金額	▲7.4	▲14.0	▲9.6	▲6.9	▲10.3	▲0.4	5.4	1.3	11.3
コンセンサス									10.1
DIR予想									14.0
輸入金額	▲18.7	▲24.6	▲17.0	▲16.1	▲16.3	▲8.7	▲2.5	8.4	1.2
輸出数量	3.1	▲2.4	0.8	4.7	▲1.4	7.4	8.4	▲0.3	8.3
価格	▲10.1	▲11.9	▲10.3	▲11.1	▲9.0	▲7.3	▲2.7	1.6	2.8
輸入数量	0.4	▲4.0	3.8	▲1.6	▲2.5	3.6	3.6	6.3	▲4.3
価格	▲19.0	▲21.4	▲20.1	▲14.8	▲14.1	▲11.9	▲5.9	1.9	5.7
貿易収支	6,865	5,045	▲346	4,866	4,812	1,465	6,359	▲10,876	8,134

（注1）貿易収支は億円。

（注2）コンセンサスはBloomberg。

（出所）財務省、Bloombergより大和総研作成

輸出数量の拡大基調の継続を確認。貿易収支は2ヶ月ぶりの黒字

2017年2月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+11.3%と、3ヶ月連続で前年を上回り、事前コンセンサス(同+10.1%)も上回った。前年比で見た輸出価格がプラス幅を拡大(1月:同+1.6%→2月:同+2.8%)したことに加え、中華圏の旧正月である春節の影響などから1月に減少していた輸出数量が2ヶ月ぶりにプラスに転じた(1月:同▲0.3%→2月:同+8.3%)ことが、輸出金額の大幅増に寄与した。輸出数量の動向を均してみると、拡大基調が継続していると評価できる内容であった。

一方、輸入金額は前年比+1.2%と2ヶ月連続で前年を上回ったが、輸出金額に比べると低調であった。食料品のほか、原油をはじめとした鉱物性燃料の輸入数量が減少したことなどが一因であると考えられる。なお、輸入金額を価格要因と数量要因とに分けてみると、輸入価格は同+5.7%、輸入数量は同▲4.3%であった。この結果、貿易収支は8,134億円と2ヶ月ぶりに黒字に転じた。

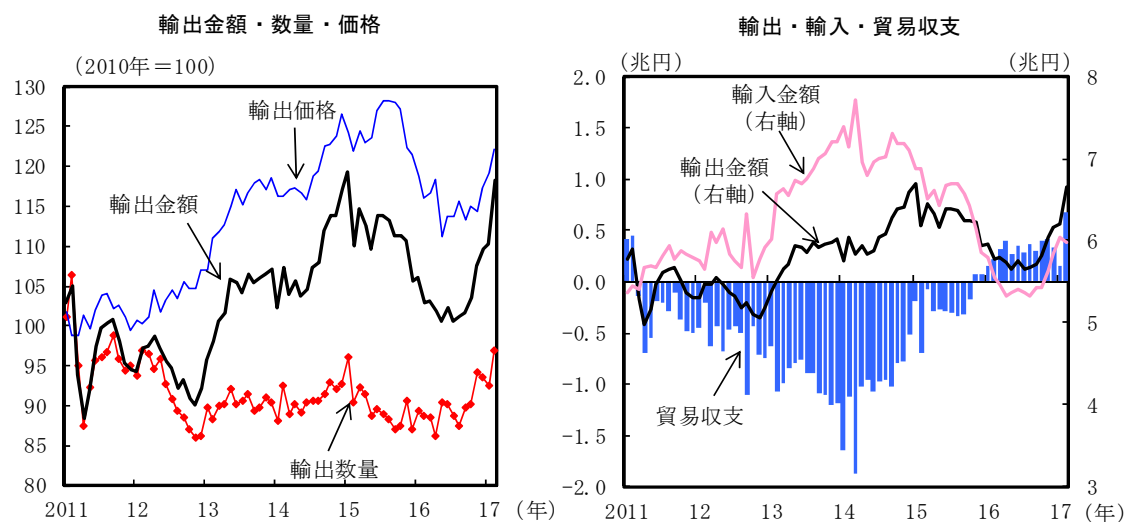
2016年11月中旬以降、対ドル為替相場は円安方向に推移しているものの、2月の税関長公示レートは113.40円/ドルと、前年比で見た対ドル為替相場は13ヶ月連続の円高水準となっている(2016年2月:117.36円/ドル)。ただし、2016年は春先以降、円高・ドル安が進行したことから、足下の為替相場が継続すれば、前年比で見た対ドル為替水準は早晚円安に転じるとみられ、輸入金額の押し上げに寄与することとなろう。

米国・EU・アジア向けの輸出数量はいずれも前月比で増加

季節調整値で見た輸出金額は前月比+6.1%と7ヶ月連続の増加、輸出数量は同+4.7%(季節調整値は大和総研による)と3ヶ月ぶりの増加となった。

輸出数量を地域別に見ると、米国向けが同+2.9%、EU向けが同+9.5%と、いずれも3ヶ月ぶりの増加、アジア向けは同+9.1%と、2ヶ月ぶりの増加となった。次に、輸出数量を品目別に見ると、米国向けでは非鉄金属やバス・トラックの輸出数量の拡大が継続した一方、ICや二輪自動車が減少した。EU向けでは音響機器や二輪自動車の輸出数量の増勢が続いた。また、欧州経済の持ち直しなどを背景に、自動車部品などは緩やかな増加基調を維持している。アジア向けでは、紙類及び同製品やIC、自動車の部分品など、多くの品目が前月から増加した。春節に伴う休暇が終わり、中国向けの輸出が通常に戻り始めたことが一因と考えられる。

図表 2 : 輸出金額・数量・価格、貿易収支 (季節調整値)



(注) 輸出数量、輸出価格の季節調整は大和総研。
 (出所) 財務省統計より大和総研作成

緩やかな増加基調をたどってきた輸入金額は2月に一服

季節調整値で見た輸入金額は、前月比▲1.6%と6ヶ月ぶりの減少となった。このところ緩やかな増加基調をたどってきた輸入金額は2月に一服した。

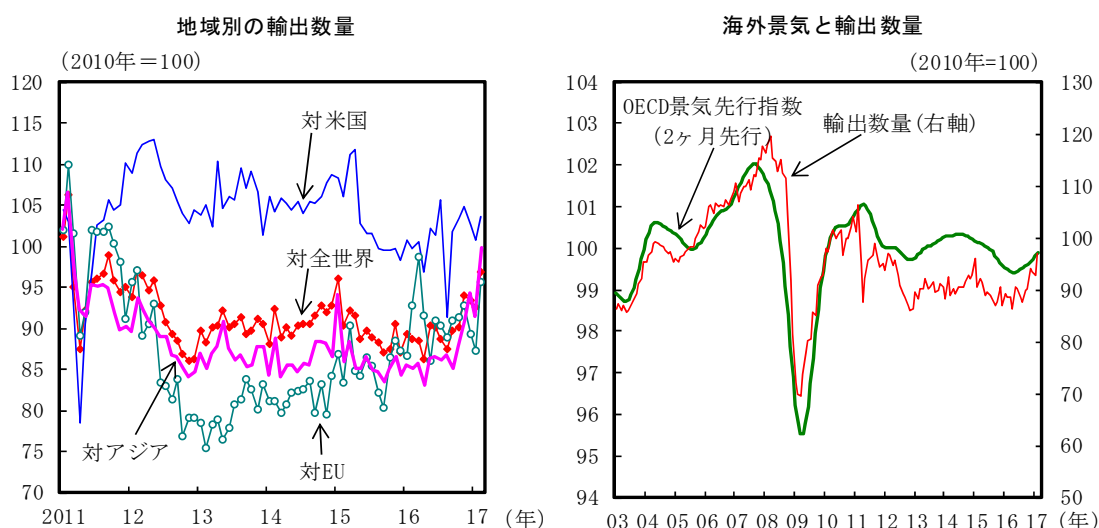
また、輸入価格と輸入数量を季節調整値で見ると、輸入価格は同+5.9%と、4ヶ月連続で増加した一方、輸入数量は同▲6.8% (季節調整値は大和総研による) と、2ヶ月連続の減少であった。

先行きは緩やかな増加基調が続くと見込むが、トランプリスクに注意したい

先行きの輸出については、海外経済が底堅い成長を続けるなか、引き続き緩やかな増加基調をたどるとみている。米国向け輸出については、米国内の雇用環境の改善等を背景として、消費財等の輸出が底堅く推移するとみられる。昨年後半以降、米大手企業の業績が着実に回復基調をたどっていることも米国向け輸出の押し上げ要因となろう。また、ECBによる量的緩和の効果等を背景に、欧州経済も堅調な推移が続いている。先行きの欧州向け輸出についても消費財を中心として、回復基調が継続すると見込んでいる。アジア経済に関しては、資本財の輸出については引き続き慎重にみているが、消費財等の需要については回復が見込まれる。

ただし、トランプ大統領がTPPからの離脱やNAFTAの再交渉・脱退を表明するなど、米国の通商政策が保護貿易主義に転じる可能性がある点がリスク要因として挙げられよう。仮に日米貿易摩擦問題が表面化するようなこととなれば、日本の輸出産業は打撃を受ける可能性がある。このため、4月にも開催が予定される日米経済対話での協議内容に注目したい。

図表3：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



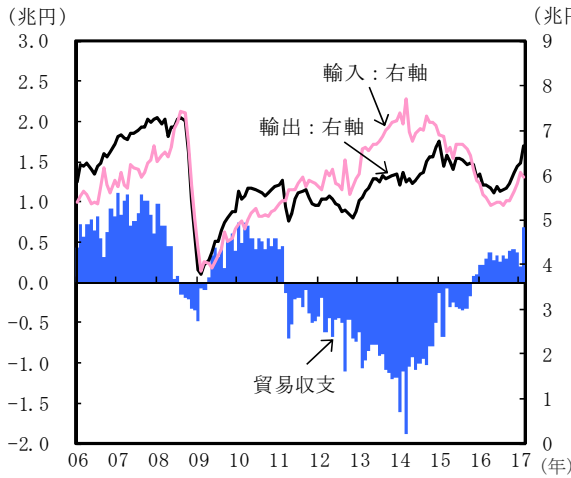
(注1) OECD景気先行指数(CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

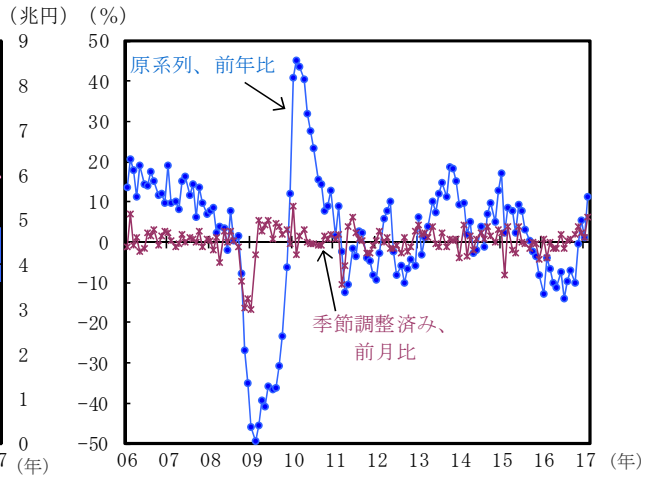
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

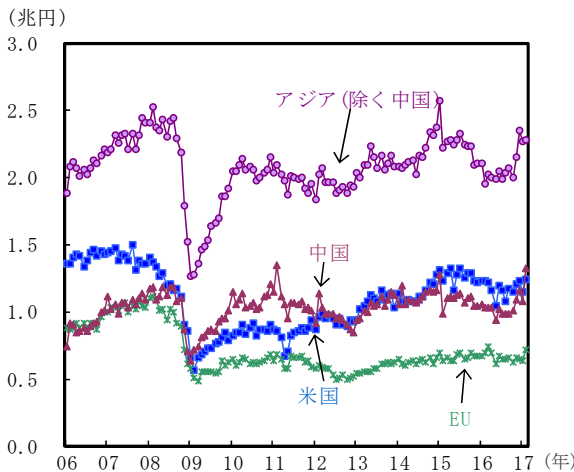


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

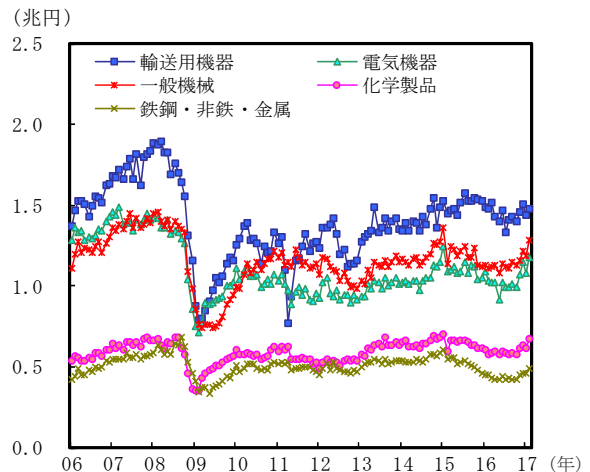


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

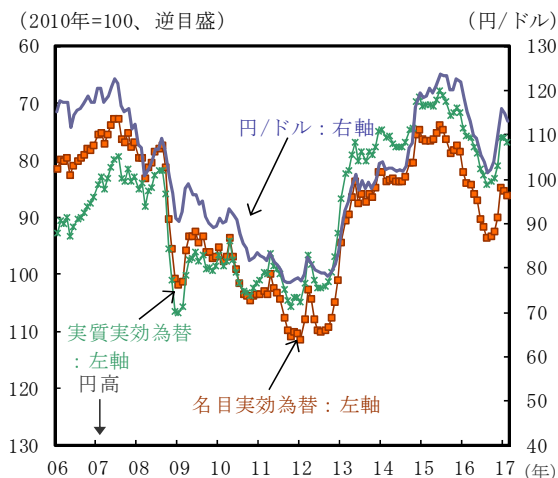


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

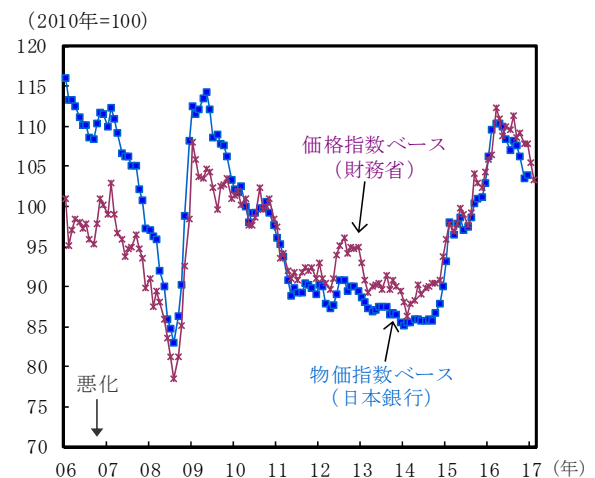


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2016/09	2016/10	2016/11	2016/12	2017/01	2017/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲6.9	▲10.3	▲0.4	5.4	1.3	11.3	100.0	11.3
食料品	7.6	▲3.9	3.4	5.1	▲15.6	21.4	0.8	0.2
原料品	▲19.6	▲26.3	▲2.4	12.4	15.3	29.5	1.5	0.4
鉱物性燃料	▲34.0	▲33.2	▲19.7	18.0	52.6	26.0	1.5	0.3
化学製品	▲7.2	▲9.5	0.5	4.0	1.5	16.4	10.6	1.7
原料別製品	▲13.3	▲15.2	▲6.4	▲1.1	▲0.8	6.7	11.1	0.8
鉄鋼	▲20.9	▲19.3	▲12.1	▲4.8	8.1	11.4	4.2	0.5
非鉄金属	▲12.8	▲8.4	5.8	13.3	▲1.2	10.4	1.8	0.2
金属製品	▲6.4	▲14.0	▲1.9	▲0.7	▲7.4	2.6	1.6	0.0
一般機械	▲2.0	▲7.9	2.9	8.9	5.3	16.6	20.7	3.3
電気機器	▲9.9	▲10.9	3.2	9.2	▲1.1	13.5	17.1	2.3
半導体等電子部品	▲11.8	▲7.1	6.5	14.8	3.2	16.8	4.9	0.8
I C	▲13.8	▲5.9	10.0	22.5	8.5	23.1	3.4	0.7
映像記録・再生機器	▲8.5	▲18.6	▲3.2	21.1	1.5	15.0	0.5	0.1
音響・映像機器の部分品	▲26.0	▲20.8	▲2.0	27.1	▲10.9	21.2	0.4	0.1
電気回路等の機器	5.8	0.1	9.6	18.0	8.7	22.4	2.5	0.5
輸送用機器	▲6.0	▲9.2	▲4.6	▲0.6	▲3.5	▲0.2	22.9	▲0.0
自動車	▲7.2	▲11.2	▲8.5	▲4.7	▲6.7	0.5	14.9	0.1
自動車の部分品	2.9	▲0.9	10.4	16.5	12.5	21.8	5.1	1.0
その他	▲1.0	▲6.7	5.4	11.7	5.1	19.1	13.8	2.5
科学光学機器	▲9.7	▲11.8	▲6.6	2.7	3.5	23.4	3.0	0.6

米国向け輸出金額 内訳								
	2016/09	2016/10	2016/11	2016/12	2017/01	2017/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲8.7	▲11.2	▲1.8	1.4	▲6.6	0.4	100.0	0.4
食料品	▲0.5	▲9.0	6.4	5.4	▲1.3	9.0	0.6	0.1
原料品	▲44.6	▲48.1	▲24.4	8.0	▲9.1	▲0.5	0.4	▲0.0
鉱物性燃料	9.8	22.7	46.6	155.4	580.5	127.8	0.4	0.2
化学製品	▲20.8	▲13.4	▲12.4	▲1.3	▲3.7	▲3.8	5.8	▲0.2
原料別製品	▲12.7	▲23.3	▲12.1	▲8.9	▲9.1	1.3	6.6	0.1
鉄鋼	▲23.1	▲40.2	▲36.6	▲27.3	▲10.9	8.9	1.5	0.1
非鉄金属	▲8.6	▲8.5	1.0	8.1	5.7	28.5	0.6	0.1
金属製品	▲7.4	▲10.5	7.4	8.0	▲6.7	▲6.9	1.6	▲0.1
一般機械	▲5.9	▲11.7	▲5.2	▲2.0	▲4.0	2.6	23.0	0.6
電気機器	▲15.3	▲11.1	▲2.2	▲1.0	▲7.8	▲1.8	14.0	▲0.3
半導体等電子部品	▲22.4	▲16.4	▲12.5	▲12.6	▲19.4	▲4.8	1.7	▲0.1
I C	▲20.8	▲15.4	▲2.7	▲6.9	▲13.8	▲3.6	0.8	▲0.0
映像記録・再生機器	▲25.9	▲27.0	▲21.8	28.3	▲3.5	▲15.0	0.6	▲0.1
音響・映像機器の部分品	5.5	15.4	▲3.3	27.5	▲8.2	29.0	0.2	0.1
電気回路等の機器	1.7	▲0.5	2.5	▲1.6	▲9.0	5.1	1.5	0.1
輸送用機器	▲6.4	▲6.1	6.1	7.7	▲8.4	1.5	40.3	0.6
自動車	▲7.3	▲2.7	10.0	9.7	▲10.1	1.1	29.9	0.3
自動車の部分品	10.6	▲9.2	9.4	22.8	2.9	22.5	6.7	1.2
その他	▲3.5	▲20.6	▲16.1	▲7.6	▲5.6	▲6.5	9.1	▲0.6
科学光学機器	▲11.2	▲15.0	▲12.9	9.3	▲4.1	0.2	2.0	0.0

EU向け輸出金額 内訳								
	2016/09	2016/10	2016/11	2016/12	2017/01	2017/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	0.7	▲9.5	▲2.2	▲4.0	▲5.6	3.3	100.0	3.3
食料品	7.0	▲4.2	▲29.0	6.8	0.6	20.2	0.4	0.1
原料品	0.6	▲34.3	▲2.6	▲8.2	▲10.3	8.7	1.0	0.1
鉱物性燃料	24.1	▲51.9	379.4	15.8	679.9	▲43.1	0.1	▲0.1
化学製品	▲6.9	▲12.8	▲6.5	▲8.6	▲5.2	5.2	8.6	0.4
原料別製品	▲15.1	▲20.1	▲25.2	▲17.5	▲19.8	▲6.8	5.9	▲0.4
鉄鋼	▲42.7	▲44.8	▲67.0	▲57.4	▲54.1	▲29.9	0.7	▲0.3
非鉄金属	▲17.4	▲21.2	▲24.8	▲16.7	11.4	2.3	0.6	0.0
金属製品	▲9.3	▲10.0	▲18.1	▲5.5	▲10.9	0.2	1.4	0.0
一般機械	▲7.4	▲15.4	▲9.0	8.4	0.1	9.8	25.5	2.3
電気機器	▲4.4	▲16.1	▲2.2	▲4.4	▲4.8	1.6	17.5	0.3
半導体等電子部品	▲1.5	▲14.0	▲8.2	▲3.0	▲13.4	▲3.7	2.3	▲0.1
I C	▲5.1	▲17.0	▲14.0	7.5	▲11.8	▲7.8	1.3	▲0.1
映像記録・再生機器	▲7.5	▲34.5	▲21.6	▲0.1	7.2	11.6	0.8	0.1
音響・映像機器の部分品	▲34.7	▲20.5	12.1	▲47.8	▲61.0	▲54.4	0.2	▲0.2
電気回路等の機器	▲0.3	▲8.7	▲6.9	▲7.4	▲3.7	4.4	1.7	0.1
輸送用機器	2.8	2.2	2.6	▲7.0	▲8.8	▲3.9	24.1	▲1.0
自動車	3.4	▲6.2	▲13.8	▲18.2	▲12.2	▲7.3	13.3	▲1.1
自動車の部分品	11.7	▲0.4	10.2	11.3	8.3	15.4	5.9	0.8
その他	30.7	▲0.9	13.3	▲7.4	▲4.2	9.9	16.9	1.6
科学光学機器	▲10.0	▲11.1	▲6.3	▲6.4	▲7.1	1.9	3.1	0.1

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2016/09	2016/10	2016/11	2016/12	2017/01	2017/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲8.4	▲9.9	3.4	12.0	6.0	20.9	100.0	20.9
食料品	13.7	▲0.9	5.3	3.2	▲22.9	22.3	1.0	0.2
原料品	▲17.0	▲22.3	1.4	20.6	22.8	35.0	2.3	0.7
鉱物性燃料	▲35.6	▲42.7	▲41.8	11.0	24.8	25.1	1.6	0.4
化学製品	▲4.6	▲7.8	4.1	7.3	4.6	22.1	14.6	3.2
原料別製品	▲12.7	▲12.9	▲2.2	2.1	3.2	12.9	14.1	1.9
鉄鋼	▲19.9	▲17.0	▲6.5	0.5	15.7	20.1	5.9	1.2
非鉄金属	▲12.6	▲7.6	7.4	15.4	▲3.2	11.9	2.9	0.4
金属製品	▲5.5	▲14.5	0.7	▲4.2	▲5.4	4.7	1.7	0.1
一般機械	2.1	▲3.5	8.0	17.2	11.0	28.7	20.7	5.6
電気機器	▲9.3	▲10.2	5.2	15.7	1.2	21.2	21.1	4.5
半導体等電子部品	▲11.6	▲5.8	9.5	19.1	6.6	21.0	7.9	1.6
I C	▲13.7	▲4.8	12.3	25.4	11.1	27.4	5.7	1.5
映像記録・再生機器	6.0	▲2.7	16.2	27.3	▲2.7	35.3	0.5	0.2
音響・映像機器の部分品	▲18.8	▲20.3	▲3.7	60.0	▲3.9	39.0	0.6	0.2
電気回路等の機器	10.6	2.0	14.7	25.7	11.8	29.8	3.5	1.0
輸送用機器	▲14.3	▲10.9	5.8	11.8	10.4	8.2	8.6	0.8
自動車	▲9.2	▲16.0	▲5.0	1.2	▲4.0	1.9	3.8	0.1
自動車の部分品	3.9	5.6	13.9	17.4	17.5	23.6	3.9	0.9
その他	▲10.4	▲10.4	4.2	14.3	6.7	23.2	15.9	3.6
科学光学機器	▲9.6	▲11.7	▲6.1	3.1	10.4	35.0	3.8	1.2

中国向け輸出金額 内訳								
	2016/09	2016/10	2016/11	2016/12	2017/01	2017/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲10.6	▲9.2	4.4	12.4	3.1	28.2	100.0	28.2
食料品	43.7	33.5	28.1	11.6	▲17.2	90.2	0.5	0.3
原料品	▲23.4	▲25.0	7.1	30.3	19.4	40.0	3.2	1.2
鉱物性燃料	28.8	▲7.3	4.8	101.5	68.1	16.2	0.6	0.1
化学製品	▲9.7	▲5.2	9.2	13.4	2.5	33.9	16.4	5.3
原料別製品	▲7.5	▲12.6	2.9	6.7	▲8.0	11.1	11.8	1.5
鉄鋼	▲11.7	▲20.1	▲7.9	2.8	3.7	25.0	4.0	1.0
非鉄金属	▲16.9	▲5.4	23.6	37.3	▲22.5	▲13.7	2.4	▲0.5
金属製品	0.0	▲13.0	5.6	▲6.1	▲3.6	13.7	1.8	0.3
一般機械	▲7.4	▲6.4	14.8	13.8	10.1	33.1	23.5	7.5
電気機器	▲13.7	▲14.6	1.1	15.5	▲3.6	26.4	21.8	5.9
半導体等電子部品	▲16.5	▲5.9	▲1.4	10.1	0.4	22.6	6.6	1.6
I C	▲21.2	▲6.5	▲4.7	10.1	1.9	22.4	4.7	1.1
映像記録・再生機器	10.5	▲4.8	48.8	45.8	▲23.7	26.0	0.7	0.2
音響・映像機器の部分品	▲33.0	▲31.9	▲14.5	49.3	▲11.9	53.3	1.0	0.5
電気回路等の機器	20.6	6.1	30.6	38.2	5.9	43.4	3.9	1.5
輸送用機器	▲1.7	0.7	13.5	22.3	18.6	25.3	8.8	2.3
自動車	▲15.9	▲11.4	4.7	6.7	0.1	▲5.2	3.0	▲0.2
自動車の部分品	14.0	13.4	23.1	38.2	40.1	55.1	5.6	2.6
その他	▲17.5	▲9.5	▲12.5	▲2.3	2.0	31.9	13.4	4.1
科学光学機器	▲14.7	▲11.2	▲12.7	▲0.9	6.3	48.6	6.1	2.6

(出所) 財務省統計より大和総研作成